

I 文(文章)で解答する設問の答案については、次のA項の加点要素の合計から次のB項・C項の減点要素の合計を引いた得点をその設問の得点とします。ただし最低点は0点としマイナスの得点はつけません。

A

- a 以下の採点基準では、模範解答をいくつかの要素に分割し加点要素とします。答案中にその加点要素に相当する部分があれば、その加点要素に配点された得点を与えます。
- b ある加点要素は、その加点要素に配点された得点か0点で採点することを原則とします。たとえば5点配点された加点要素であれば5点か0点で採点することを原則とします。ただし、その加点要素中の部分点を認める場合もあります。その場合それぞれの採点基準の中に明記されています。
- c ある要素に加点するか否かが、他の要素と無関係に決まる場合と、他の要素との関係で決まる場合があります。前者の場合は、その要素を単独採点(独立採点)すると言いその旨必ず明記されています。後者の場合は、他の要素との関係について以下の採点基準で具体的に指示されています。
- d 解答通りという条件がある場合はいかなる部分点も認めません。

B

- a 答案中に大きな誤読と判定される内容(語句)などがある場合は、その内容(語句)を減点要素として示されている場合もあります。
- b 加点要素でも減点要素でもない部分もあります。その部分は加点も減点もしません。

C

次に該当するものは、答案の形式上の不備として、一箇所につき1点の減点要素とします。

- a 誤字。漢字などの文字の明らかな誤りは誤字とします。
  - b 脱字。
  - c 文末の句点の脱落。
  - d ※字数指定のない場合、句点の脱落は誤字とし1点の減点とします。  
※字数指定のない場合、句点の脱落は誤字とし1点の減点とします。
  - e 不適切な文末処理。設問の問い方に対応していない形で答案の文末を結んでいない場合は、適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備による減点要素とします。たとえば「:とはどういうことか?」という問いに体言で結んでいないものなどは適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備とします。また、理由が問われているのに、「から」「ので」などで結んでいないものなども適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備と見ます。
- ※ただし、「ことである」などの表現も「こと」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。また、「からである。」などの表現も「から」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。また文末の表現を問わない場合もありますが、その場合はその都度明記されています。

2 日本語の表現として不適切なものは程度に応じて減点します。

3 次の各項に該当するものは、部分点の要素があっても、その設問の得点を0点とします。

- a 答案が解答欄の欄外にはみ出しているもの。
- b 一行の解答欄に二行以上書いた場合もその設問の得点を0点とします。
- c 字数指定のある設問で、字数をオーバーしたもの。
- d 答案の文章が最後まで完結していないもの。

4 古文あるいは漢文の訳を記述する設問の場合も以上に準じますが、文末の句点や文末の処理あるいは答案の完結にこだわらなくともよい場合はその都度明記されています。

2022年7月 第2回全国有名国公私大模試 採点基準 【50点満点】

▼解答・配点(50点)

問一 a □ b ホ c ニ d へ [3点×4]

※解答通り

問二 X ニ Y イ [3点×2]

※解答通り

問三 コペルニクスの転換(または、コペルニクスの革命) [4点]

※解答通り

問四 ホ [5点]

※解答通り

問五 執拗性と柔軟性という二つの性質が巧みに組み合わせることで、不意に何かがある日みえるようになることの確率が高くなるから。(59字) [8点]

A 執拗性と柔軟性という二つの性質が巧みに組み合わせることで。(8点)

- ①「執拗性と柔軟性」、二つの言及についてそれぞれ3点。②が無くても①は得点を与える。それぞれ「説明できないものに対して考え抜く執拗性」と、「一つの考えがうまくいかないときに別の考えを試す柔軟性」というように詳しく説明があっても可。

②「組み合わせること」…2点。

B 不意に何かがある日みえるようになることの確率が高くなるから。(0点)

- ①「不意に何かがある日」…0点。  
②「みえるようになることの確率が高くなるから」…0点。

※B要素がなくても満点になります

問六 常識のある時は懷疑し、時には打破して、新しい考えにもとづいたことを創造し、また、通常の生活や思考の枠を越えて、異質な生活に接したり異質な考えに触れたりすること。(80字) [10点]

※「常識」の語が書かれていない場合、全体無得点とする。

A 常識のある時は懷疑し、時には打破して。(2点×2)

- ①「常識のある時は懷疑し」…2点  
②「時には打破して」…2点

※Aについて「常識に挑戦する」だけでは2点。

B 新しい考えにもとづいたことを創造し。(2点)

C 通常の生活や思考の枠を越えて。(2点)

D 異質な生活に接したり異質な考えに触れたりする(1点×2)

- ①「異質な生活に接したり」…1点  
②「異質な考えに触れたりする」…1点  
※Dは「異質な生活や考えに触れたりする」でも可。2点とする。

問七 □

[5点]

大問二 問一

基準 配点.. 2点×4

■模範解答 ※解答例通り(漢字書き取り問題)

- 1 思潮
- 2 加担(荷担)
- 3 擁護
- 4 促進

大問二 問二

■形式上の不備

- ・文末表現…要素B参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素B不可
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 6点

■模範解答

A

連帯の成立が困難な現代社会において、

B

連帯成立の可能性を肯定的に捉えていること。(39字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…四十字以内 十九字以下のもは全体不可(0点)

■要素A 連帯の成立が困難な現代社会において…3点

- ・第一段落に示されている現代社会の状況について説明していないものは、要素A加減なし

・同意例…多元性と差異が際立つ現代社会で

同質性が減小した現代社会で

同一性よりも差異が前景化する現代社会で

自己と他者との同一視が難しい現代社会で

\*同意例の二つ目を使った場合、「減小」(本文での表記)を「減少」としてもよい。

■要素B 連帯成立の可能性を肯定的に捉えていること…4点

- ・要素Aであるにもかかわらず、「連帯の可能性を示した」という点について説明していないものは、要素B加減なし
- ・同意例…連帯の可能性を提示したこと

大問二 問三

基準 配点.. 6点

■模範解答 ※解答通り(記号選択問題)

ホ

大問二 問四

■形式上の不備

- ・文末表現…要素D参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素D不可
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 12点

■模範解答

A 伝統的差異によって

B 分けられた境界線の内側にいることだけではなく、

C 連帯の対象となるための他の規準も設けられ、

D 新たな境界線が引かれるということ。(70字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…七十字以内 三十四字以下のものは全体不可(0点)

■要素A 伝統的差異によって…3点

・「こうした差異」の内容を説明していないものは、要素A加点数なし

■要素B 分けられた境界線の内側にいることだけではなく…3点

・「相対化」に関して、「もともとのあり方」を説明していないものは、要素B加点数なし

■要素C 連帯の対象となるための他の規準も設けられ…3点

・「相対化」に関して、「他のものもある」ということについて説明をしていないものは、要素C加点数なし

■要素D 新たな境界線が引かれるということ…3点

・「境界線が乗り越えられる」を言い換えていないものは、要素D加点数なし

\* 「相対化」される「境界線」について、特に「相対化」の説明ができていないもの、不十分なものが予想される。要素B(もともとの境界線)に要素C(他の境界線)が加わるということを説明できていないものは、要素B・Cで3/6点とする。



大問二 問五

基準 配点.. 6点

■模範解答 ※解答通り(記号選択問題)

二

大問二 問六

■形式上の不備

- ・文末表現…要素D参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素D不可
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 12点

■模範解答

A 現代の私たちの実体験からすると、

B 苦痛や屈辱に依拠して

C 連帯の範囲が拡大するというローティの連帯観は

D 私たちを納得させるものがあるということ。(68字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…七十字以内 三十四字以下のものは全体不可(0点)

■要素A 現代の私たちの実体験からすると…3点

・「ローティ的連帯」が「現代の私たちの実体験に迫っている」ということを説明していないものは、要素A加点数なし

■要素B 苦痛や屈辱に依拠して…3点

・「ローティ的連帯」の内容を説明していないものは、要素B加点数なし

■要素C 連帯の範囲が拡大するというローティの連帯観は…3点

・「ローティ的連帯」の内容を説明していないものは、要素C加点数なし

■要素D 私たちを納得させるものがあるということ…3点

・「説得力を帯びる」を言い換えていないものは、要素D加点数なし

★2022年度第2回 全国有名国公私大模試

三 (古文『栄華物語』) 採点基準 ※50点

問一 甲 「局」の読みを、ひらがな三字(現代仮名遣い)で記せ。 【1点】

「正解」 つぼね

「ポイント」

【1点】 ※「つぼね」以外は×。

問一乙 「宿直」の読みを、ひらがな三字（現代仮名遣い）で記せ。

【一点】

【正解】 とのい

【ポイント】

【一点】 ※「とのい」以外は×。「とのゐ」は×。

問一 丙 「乳母」の読みを、の読みを、ひらがな三字（現代仮名遣い）で記せ。【1点】

【正解】 めのと

【ポイント】

【1点】 ※「めのと」以外は×。「うば」は×。

問二 ① ニ重傍線部の文法上の意味として最も適当なものを、一つ選び、記号で答えよ。 【2点】

正解 [ ロ ]

ポイント [ ]

【2点】 ※「ロ」以外は×。

問二 ② ニ重傍線部の文法上の意味として最も適当なものを、一つ選び、記号で答えよ。 【2点】

〔正解〕 ニ

〔ポイント〕

【2点】 ※「ニ」以外は×。



問二 ③ ニ重傍線部の文法上の意味として最も適当なものを、一つ選び、記号で答えよ。 【2点】

〔正解〕 ホ

〔ポイント〕

【2点】 ※「ホ」以外は×。

問二 ④ ニ重傍線部の文法上の意味として最も適当なものを、一つ選び、記号で答えよ。 【2点】

〔正解〕 ハ

〔ポイント〕

【2点】 ※「ハ」以外は×。

問三 a 空欄に入る語として最も適当なものを、一つ選び、記号で答えよ。

【3点】

正解 [ロ]

ポイント [

3点] ※「ロ」以外は×。

問三 b 空欄に入る語として最も適当なものを、一つ選び、記号で答えよ。

【3点】

正解 [ニ]

ポイント

【3点】 ※「ニ」以外は×。

問三 c 空欄に入る語として最も適当なものを、一つ選び、記号で答えよ。

【3点】

〔正解〕ハ

〔ポイント〕

【3点】 ※「ハ」以外は×。

問四 ㊦ 傍線部の意味を、簡潔に答えよ。 【2点】

〔傍線部〕 A2 つごもり

〔正解〕 A2 月末

〔ポイント〕

【2点】

※ 「ひと月の末頃」の意があればよい。

※ 「月」の意がない「末・末頃・終わり頃」等は【1点】。

※ 「ひと月の末日・三十日・晦日」のように、ひと月の最終日に限られた意になっている場合は【1点】。

問四 ① 傍線部の意味を、簡潔に答えよ。 【2点】

〔傍線部〕

A2

はらから

〔正解〕

A2

兄弟

〕ポイント〔

【2点】

※「兄弟姉妹・同腹の兄弟（兄弟姉妹）」でもよい。「同腹の」は「母を同じくする・同じ母から生まれた」等でもよい。

「姉妹・同腹の姉妹」等は×。

問四 ㊦ 傍線部の意味を、簡潔に答えよ。 【2点】

〔傍線部〕

A2

まかで

〔正解〕

A2

退出し

〕ポイント〔

【2点】

※ 「退出する・おいとまする・退く・下がる」の意があればよい。「退出し」等、連用形で書かれていてもよい。  
※ 「帰る・戻る・失礼する」は【1点】。



問五 A 傍線部を現代語訳せよ。【3点】

※ 基本的に、全体的な意味のつながりに不具合があっても、各部分の訳があっていれば、その部分の点は与えることとします。

〔傍線部〕

A1 御文 B2 ものせさせたまふ

〔解答例〕

A1 御手紙を B2 お書きになる

〔採点方法〕

各要素単独採点。

〔字数〕

指定なし。

〔ポイント〕

A【1点】御文 ↓ 御手紙を

※ 「手紙」の意があればよい。

B【2点】ものせさせたまふ、 ↓ お書きになる

※ 「書く」、または「送る・やる（差し上げる）・出す」等の意があれば【1点】。

※ 右の意がある上で、尊敬（おくになる・おくになられる・くなさる）の意があれば【2点】。

問五 B 傍線部を現代語訳せよ。 【4点】

※ 基本的に、全体的な意味のつながりに不具合があっても、各部分の訳があっていれば、その部分の点は与えることとします。

〔傍線部〕

A I いかでかは B I 思ひのままには C 2 出で立ちたまは (A) ん、

〔解答例〕

A I どうして B I 思ひのままに C 2 参内なさる (A) ことができようか、

〔採点方法〕

各要素単独採点。ただし、条件が書かれている場合は、それに従って下さい。

〔字数〕

指定なし。

〔ポイント〕

A 【1点】 いかでかは ん、 ↓ どうしてゝことができようか、

※ 「どうして・なぜ」の訳があり、全体で反語を表していることが分ければ 【1点】。

※ 「どうしてゝ (する) だろうか・どうしてゝ (する) はずがあるうか・どうしてゝ (する) ことがあろうか」等でもよい。

これらの後に「いや(いいや)ゝない(ないだろう・できない)」「等が付いていてもよい。

B 【1点】 思ひのままには ↓ 思ひのままに

※ C が 0 点の場合は得点できない。ただし、誤字等で 0 点になっている場合は得点できる。

※ 「思い通りに・気の向くままに」等でもよい。

C 【2点】 出で立ちたまは ↓ 参内なさる

※ 「参内する」は「入内する・出立する・出発する・帝のもとへ行く・宮中へ行く」等でもよい。この意があれば 【1点】。

※ 右の意がある上で、尊敬(おゝになる・おゝになられる・ゝなさる)の意があれば 【2点】。

問五 C 傍線部を現代語訳せよ。【5点】

※ 基本的に、全体的な意味のつながりに不具合があっても、各部分の訳があっていれば、その部分の点は与えることとします。

〔傍線部〕

A2 気色にも出さず、 B1 年ごろ C2 おはしましけること

〔解答例〕

A2 顔にも出さず、 B1 長年 C2 過ごしていらっしやったことよ

〔採点方法〕

各要素単独採点。

〔字数〕

指定なし。

〔ポイント〕

※ 主語である「中宮安子は」等の有無は不問。ただし、誤った主語が書かれている場合は総点からマイナス点とする。

A【2点】気色にも出さず、 ↓ 顔にも出さず、

※ 「顔」は「顔色・表情」でもよい。「顔」の意がなく「様子」となっている場合は【1点】。

※ 「出さず」は「出さず」でもよい。これができていない場合は×。

B【1点】年ごろ ↓ 長年

※ 「数年・数年来・長い間」などでもよい。

C【2点】おはしましけること ↓ 過ごしていらっしやったことよ

※ 「いる・過ごす」＋過去「くた」＋尊敬「くしらっしやる・おくになる・くなさる」＋詠嘆「ことよ・なあ」がそろって【2点】。

※ 「いる・過ごす」に相当する意味がない場合は×。

※ 過去・尊敬・詠嘆のうちの一つが欠けることに、マイナス点とする。ただし、Cの【2点】を越えてマイナスはしない。

問六 D 傍線部は、どのようなことを言っているのか、説明せよ。 【5点】

〔傍線部〕 かかることのいつしかとあること。ただ今かくおはしますべきことかは

〔解答例〕 **A3** 中宮が亡くなって日が浅いのに、**B1** 妹の式部卿宮の北の方が参内することは、**C1** 適當ではないということ。

〔採点方法〕 各要素単独採点。ただし、条件が書かれている場合は、それに従って下さい。

〔字数〕 字数指定なし。

〔ポイント〕

**A【3点】** 中宮が亡くなって日が浅いのに、

※「中宮(安子)の死後、日が浅い(日が経っていない・早い・今ではない)」の意があればよしとする。

※「中宮(安子)の死後」の意がなく、「日が浅い(日が経っていない・早い・今ではない)」の意がある場合は**【1点】**。

**B【1点】** 妹の式部卿宮の北の方が参内することは、

※**AもCも0点の場合**は得点できない。ただし、誤字等で0点になっている場合は得点できる。

※「式部卿宮の北の方(宮の北の方・登子)の参内(入内・天皇との結婚・帝のもとへ行く)は」の意があればよい。

※「いつかはあることだが」の意の有無は不問。

**C【1点】** 適當ではないということ。

※**AもBも0点の場合**は得点できない。ただし、誤字等で0点になっている場合は得点できる。

※「適當ではない」は「よくない・穉やかでない・不満だ・不快だ」等、または「女房や乳母が適當でない(よくない・穉やかでない・不審だ・いぶかしい・不満だ・不快だ)」等もよい。

問六 E 傍線部は、どのようなことを言っているのか。説明せよ。 【5点】

〔傍線部〕 ただ今のそしりぐさは、この御事ぞありける。

〔解答例〕 **A1**帝に対する非難の種は、**B2**帝が式部卿宮の北の方を寵愛するあまり、**C2**政務をなおざりにしていることだということ。

〔採点方法〕 各要素単独採点。ただし、条件が書かれている場合は、それに従って下さい。  
〔字数〕 字数指定なし。

〔ポイント〕

**A【1点】** 帝に対する非難の種は、

※**BもCも0点の場合には得点できない。**ただし、誤字等で0点になっている場合は得点できる。

※**B・C**の内容が「非難されている（批判されている・悪く言われている・問題だ）」の意があればよい。

※「今の・現在の・当分の」の有無は不問。

**B【2点】** 帝が式部卿宮の北の方を寵愛するあまり、

※**Aが0点の場合には得点できない。**ただし、誤字等で0点になっている場合は得点できる。

※「帝（天皇・村上帝）が式部卿宮の北の方（宮の北の方・登子）を寵愛する（愛する・大事にする・離さない・熱心だ等）」の意があればよい。

※**A**に「帝に対する」がある場合は、**B**に「帝（天皇・村上帝・村上天皇）」はなくてもよい。

**C【2点】** 政務をなおざりにしていることだということ。

※**Aが0点の場合には得点できない。**ただし、誤字等で0点になっている場合は得点できる。

※「政務（政治・政）をなおざりにする（おろそかにする・放っている・行わない）」の意があればよい。

問七 『栄花物語』と同じく歴史物語に属する作品を、一つ選び、記号で答えよ。

【2点】

〔正解〕 ニ

〔ポイント〕

【2点】 ※「ニ」以外は×。

2022年度 第2回 全国有名国公私大模試 捜神記

四 (漢文) 採点基準 (合計250点)

問一 各2点 8点

解答

a 2点 b 2点 c 2点 d 2点 e 2点

採点基準

\*歴史的仮名遣いと現代仮名遣いが混ざっている場合は、どちらかに統一するように注意を促してください。

例

a 「つひに」 b 「こたえて」 歴史的仮名遣いに統一しよう。「こたへて」

a 「ついに」 b 「こたへて」 現代仮名遣いに統一しよう。「こたえて」

\*送り仮名が不足している場合は1点。

a 2点 c 2点 d 2点 e 2点

ただし、b 2点は0点。

問二 ①2点 ②2点 ③2点

a 2点 b 2点 c 2点 d 2点

解答例

① 棺には きっと 金銀財宝がある にながいない と思ひ

② 県の役人に 目撃され

③ 本当に わからぬこと(が) あるもの(だ)なあ(と)。

採点基準

① \* b 「きっと」に「ながいない」は「きっと」「当然」などだけでも許容。  
c 「宝物」は「金銀財宝・大金・金目のもの」など許容。

② \* 受身の構文で訳す。

a 「県吏」のままも許容。

b 「見られ」など可。

③ \* c は詠嘆がなく、断定も許容。

問三 7点

解答例

a 1点 b 1点 c 1点

頭を 斧で 打ち砕かれては

d 2点 e 2点

生き返ることが できなくなる から。

採点基準

\* b 「頭部」「顔」「体」「身体」も許容。

c 「斬られる」「壊される」「つぶされる」なども許容。

\* 文末「ので」「から」「ため」がない場合は減点1点。

問四 2×2＝4点 【解答通り】

解答 イ・へ

問五 6点 【解答通り】

解答 ロ



問六 5点

解答例

a 1点

b 2点

c 2点

あばくこと なからんとほつ(つ)す とらへ(え)ども

採点基準

\* a 「あばくこと」は「あばく」(連体形)も可。

\* b 「なからんと」に1点。

b 「未然形」+んとほつす」に1点。

問七 8点

解答例

a 3点

墓を暴いたのは 冥界の役人の命令によるもので

b 2点

蔡仲の意志では どうすることもできないのだから、

c 3点

罪に問わないという 判決。

採点基準

\* a 「冥界の役人」を「鬼」「神」「鬼神」とするものは減点1点。

\* b 「どうしようもなく」「仕方なく」など。

\* c 「判決」は「罪を問わない」「無罪」など。

\* 文末は、「こと」なども可。